

御嶽山

喜山 登

あれからもう三年になるのか？そうその日2014年9月27日のこの日は天気も良くヘリコプターが何度も飛来、各山小屋に食料品などをせっせと運んでいた。夜行バスでねむけ眼をしながら少し紅葉した景色を見つつ、ロープウェイ千畳敷駅へ。昔千畳敷駅を出るとガスで周りが何も見えず山頂ホテルでコーヒーを飲んでおさらばした事があったっけ。

ここから二時間、高度差四〇〇m弱の木曾駒（九五六m）へ、10時頃山頂から周りを見渡す。東南方向に南アルプスの山々の向こうに富士山が顔を出し、北方向には北アルプスの峰々にはっきりわかる山容、そう槍ヶ岳が見える。西北西に目を転じると台形状の山が見えた。ガイドの説明で「あれが御嶽山か？」おにぎりを食べながら次に登りたい山だと思ったものだ。そして写真を撮る、悲しいかな先日初めて買ったデジカメ。説明も読まずだったのでSDカードを入れてなくて内蔵メモリが二十枚ほど。富士山、北アルプスを撮りまくって、御嶽山（三〇六七m）を撮ろうとするともメモリが満杯。どれかを消して撮ればよかったと気づいたが後の祭り。しかし静かな台形状の山容は今も瞭に焼き付いている。

穏やかな秋の日差しのもと12時頃ケーブルカーの所へ下りて来るとガイドさんの携帯電話が鳴り、御嶽山が噴火して頂上付近は大変らしい、我々は12時前に下山開始したので無事だ！といった内容が漏れ聞こえてきた。先ほど見たあの穏やかな山容が火を噴く？こんな事ってあるの？登山口の温泉のTVで盛んに噴火状況が映し出されていて、凄いいことになったとびっくり。それをこちららはビールを飲みながら…沢山の人が石に当たったり、灰を被



ったりこの落差は何なの…家に帰ってからTVを見ると多くの五十八名）人が亡くなったり行方不明と大惨事を報じている。別の山とは言え同じ日に上った者としては、なんだか申し訳ない気がするきて、不謹慎にも冥福を祈って改めてビール。

そう言えば六十年ほど前、姉が修学旅行先の阿蘇山でやはり噴火に出会い学友が一人無くなり、旅行は中止。怖い目にあったと言っていた事を思い出した。

日本の山は関西を除くと火山が多く、常に煙たなびく桜島や霧島、普賢岳、阿蘇山、浅間山、箱根等噴火の話題に事欠かない。高地に近い焼岳も北峰は山頂まで登れるよう規制緩和されているが、すぐそばの南峰は立ち入り禁止。

火山大国日本ではいつ噴火するかわからないので怖がって登らないか！登山中に噴火しても仕方が無い、ここを死地としてあきらめの境地で登るか！